

3・4月の 日曜当番医



日 程	病院名	電話番号
3月13日	館岩愛輝診療所	0241-78-8688
3月20日	耳鼻咽喉科あべクリニック	0241-62-8733
3月27日	朝日診療所(只見町)	0241-84-2221
4月3日	きむらクリニック	0241-62-5576
4月10日	佐藤医院(下郷町)	0241-67-2134
4月17日	高橋医院	0241-62-0040
4月24日	馬場医院	0241-62-0141

※午前中のみの診察となります。ご注意ください。

栄養士監修コラム

野菜を使った健康レシピ



今月の野菜 打豆豆

大豆は、打ち豆に加工することで、ポリフェノールが約15倍に上昇。また、脳機能を活性化するレシチン、老化を予防するイソフラボン、強い抗酸化作用を持つサポニンなど、ありがたい栄養素を多く含有します。

●打ち豆を手作りしませんか？

ざるに広げた青大豆に水をかけ、一晩寝かせます。翌日には、水を2回かけ、木づちなどで打ちましょう。打った青大豆を、自然乾燥させれば完成です。

作り方

- ①打ち豆をぬるま湯に15分ほど浸し、柔らかくなったら薄皮をむく。にんじんは千切り、たまねぎは薄切りに
 - ②下処理した打ち豆、にんじん、たまねぎと桜エビを軽く混ぜておく。ボウルで天ぷら粉、片栗粉、塩を混ぜたら、冷水を加える
 - ③衣は少しダマが残るくらいにサクッと混ぜ、具材をくぐらせる。170℃の油で揚げれば完成



材料（4人分）		天ぷら粉	100g
打ち豆	50g	片栗粉	10g
桜エビ	20g	冷水	150cc
にんじん	20g	塩	ひとつまみ
たまねぎ	大1個	揚げ油	適量

広報みよみいづ 2022.3

■ 司書さんからのおすすめ

やさいべたかくれんぼ

出版社：アリス館
著者：松田奈那子



みんなのおすし

出版社：ポプラ社
著者：はらべこめがね



お菓子な自由研究

出版社：学研プラス
監修：東京製菓学校



【すまいるだよりに関する問合せ】

子育て世代包括支援センター「えがお」
(健康福祉課 子育て支援係内)

電話 0241-62-6170

メールでの相談はコチラ▶

egao@minamiaizu.org





まいるだよりでは、これまで「経験すること」や「経験から学ぶこと」の大切さをお伝えしてきました。しかし、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、行事やイベントの開催・外出などが制限され、家で過ごすことを余儀なくされる現状があります。

子 育て中の皆さんから「お子さんが、経験や体験をする機会が少なく、不安になる」など、相談をいただくことも多くなりました。そこで、ご家庭の中でもたくさんの経験ができるアイテムとして「本」との付き合いの方を、一緒に考えてみましょう。



特に、人格形成の途中にある
お子さんにとって、感動を
呼ぶ物語や、尊敬できる人物との
出会いなど、本が語りかける内容
は、一生の財産になり得ます。

図書館には、対象者の年齢に応じ、本の選択をサポートする司書さんがいます。今回は「料理」をテーマとしたお勧めの本を、年代別に選んでいただきました。

単にレシピの紹介ではなく、食材の断面に迫るユニーケな本や、すし職人と動物のやりとりを紹介した絵本、お菓子を題材とした自由研究の本など、ワクワクする本ばかり。魅力的な本との出会いが、皆さんを待っています。



うための工夫をしてみましょう。

町では、生後6カ月から8カ月のお子さんを対象とした健康相談の場で、ブックスタート事業に取り組んでいます。読み聞かせの第一歩として、お勧めの本をプレゼントする企画です。

お子さんが成長し、自ら本を選択できるようになれば、読書の質を向上させる時期。専門家がお勧めする本に触れてみてはいかがでしょうか。

絵でストーリーを楽しみたい場合は、マンガ。登場人物の敬遠しがちの漢字も一緒に読むことができます。歴史や人間関係を学ぶ教材として、優れた作品も多く、文字を読むことが苦手なお子さんには、オーディオブックを活用することも一つの方法です。

限りある時間を、豊かにするために、本は頼もしい存在です。「おうち時間」のパートナー

うちから、本を身近に感じてもらうための工夫をしてみましょう。

いかがでしょう。インターネット上で直接読めたり、専用のアプリで読んでみたり、ボタンを押せばページが進み、自動音声でくら